

【財政健全化判断比率】

区分	花巻市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	1.6%	11.85%	20%
連結実質赤字比率	1.6%	16.85%	30%
実質公債費比率	11.3%	25%	35%
将来負担比率	84.8%	350%	

【資金不足比率】

会計名	花巻市	経営健全化基準
公設地方卸売市場事業	1.6%	20%
下水道事業	1.6%	20%
農業集落排水等汚水処理事業	1.6%	20%

注1…表中、各基準は国が示した数値です  
注2…赤字額、資金不足がない場合は、「-」で表しています

全項目で健全化基準をクリア  
財政状況が良好かどうかを示す指標に財政健全化判

財政状況

断比率(4分類)と資金不足比率があります。国が示すこの指標の判断基準により、市の財政が「健全団体」「早期健全化団体(要注意状態)」「財政再生団体(破たん状態)」のいずれの状態にあるか、また各会計の経営状態はどうかを判断することができま

ます。この指標のうち一つでも基準値以上になった場合は、それぞれ法で定められた計画の策定を行い、財政の健全化を図ることになります。

本市では、基準値を超える項目はなく、財政状況は健全であると言えますが、引き続き無駄のない財政運営に努め、一層の財政健全化に取り組んでいきます。

借金は減少、貯金は増加 財政健全化を推進

決算などについて、詳しくは ▶決算や財政状況については、本庁財政課へ問い合わせください▶平成26年度決算書、実施した事業の概要や成果をまとめた資料は、同財政課や各市立図書館、各振興センターに備え付けています▶市の職員が予算や決算などの説明に伺う「ふれあい出前講座」もあります

【特別会計決算の総括表】

(単位:万円)

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険	107億 654	102億1,785	4億8,869
後期高齢者医療	18億7,510	18億7,361	149
介護保険	95億6,530	94億2,019	1億4,511
公設地方卸売市場事業	6,221	6,026	195
下水道事業	40億2,964	39億5,076	7,888
農業集落排水等汚水処理事業	15億2,053	14億8,762	3,291
合計	277億5,932	270億1,029	7億4,903

特別会計

六つの特別会計の決算

市の会計には、一般会計とは別に、特定の収入で特定の支出を賄う「特別会計」

があります。この特別会計は、事業の収支を明確にするため、それぞれの会計で決算が行われています。

国民健康保険

加入者が納める国民健康保険税や国・県からの交付金などを主な財源として、医療給付や各種保健事業を実施しました。

平成26年度の被保険者は2万3670人で、前年度と比較して995人(4.0%)減少しました。

市が支払う保険給付費は67億97万円で前年度と比較して9731万円(14.4%)減少しました。

後期高齢者医療

後期高齢者医療保険料や市の負担金を主な財源として、各種の申請や届け出の受け付け、保険料の徴収な

どを行いました(事務は、運営主体である岩手県後期高齢者医療広域連合と分担しています)。

平成26年度の被保険者は1万6764人で、前年度と比較して171人(1.0%)増加しました。

市が支払う医療給付費相当額は9億4377万円で、前年度と比較して2414万円(2.6%)増加しました。

介護保険

介護保険料や国・県・市の負担金を主な財源として、介護サービスを提供しました。

平成26年度末の65歳以上の高齢者は3万1029人、本市の人口に占める割合は31.3%となり、前年度と比較して0.9ポイント上昇しています。

また、要介護などの認定者6169人のうち、5161人(83.7%)が介護サービスを利用しました。

市が支払う保険給付費は91億5938万円で、前年度と比較して5億2764万円(6.1%)増加しました。

公設地方卸売市場事業

施設使用料や売上高に応じた使用料を主な財源として、公設地方卸売市場を運営しました。

生鮮食料品の安定供給に努め、青果物7630トン、水産物1989トンの取扱高がありました。

下水道事業

下水道使用料や国の補助金を主な財源として、下水道施設の整備・維持管理などを行いました。

平成26年度は宮野目地区や好地地区など10地区で埋設排水管の布設工事を行い、下水道整備区域を拡大。その結果、計画面積に対するの整備率は66.0%とな

りました。また、下水道整備を終えた区域内で水洗化の促進に努めた結果、水洗化率は81.6%となりました。

農業集落排水等汚水処理事業

農業集落排水施設使用料や国・県の補助金を主な財源として、汚水処理施設の整備・維持管理などを行いました。

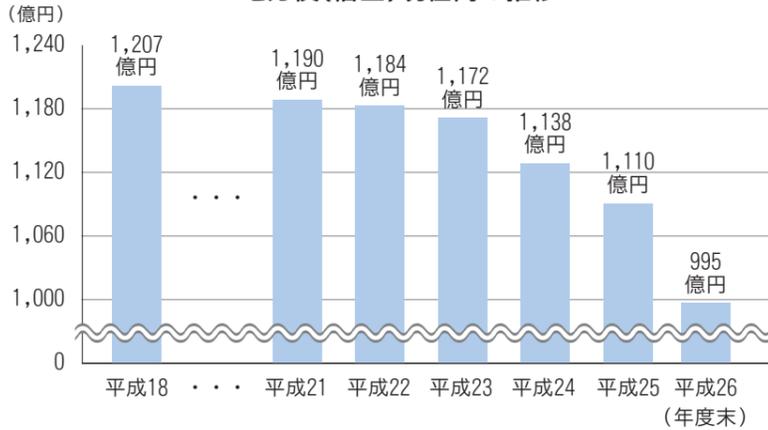
農業集落排水施設は、平成4年度から平成22年度まで整備を実施。花巻地域7地区、大迫地域1地区、石鳥谷地域5地区、東和地域1地区の全ての地区で整備が完了し、供用しています。

供用区域内で水洗化の促進に努めた結果、水洗化率は、82.6%となりました。

公共下水道や農業集落排水の集合処理区域を除く地域では、戸別浄化槽を設置するなど、それぞれの区域に即した汚水処理方法で水洗化を促進しました。

用語解説 ▶実質赤字比率／普通会計(一般会計など)の赤字比率▶連結実質赤字比率／市の全ての会計(普通会計・特別会計・企業会計)を含めた赤字比率▶実質公債費比率／市の全ての会計に一部事務組合などの会計を含めたもので、公債費の財政負担を見るための比率▶将来負担比率／市の全ての会計と一部事務組合などの会計に第3セクターなどの会計を含めたもので、普通会計が将来、財政負担する実質的な負債(借入金残高など)を見るための比率▶資金不足比率／特別会計などの事業の規模に対する資金不足額の比率

地方債(借金)現在高の推移



※水道事業の広域統合に伴い、平成25年度末の地方債現在高のうち、上水道事業会計分(100億円)は、平成26年度に岩手中部水道企業団が引き継ぎました

積立金(貯金)現在高の推移

